

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書の訂正報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第4項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成26年12月24日

**【四半期会計期間】** 第118期第2四半期  
(自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)

**【会社名】** 鹿島建設株式会社

**【英訳名】** KAJIMA CORPORATION

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 中村満義

**【本店の所在の場所】** 東京都港区元赤坂一丁目3番1号

**【電話番号】** 03(5544)1111 代表

**【事務連絡者氏名】** 執行役員財務本部主計部長 中谷俊信

**【最寄りの連絡場所】** 東京都港区元赤坂一丁目3番1号

**【電話番号】** 03(5544)1111 代表

**【事務連絡者氏名】** 執行役員財務本部主計部長 中谷俊信

**【縦覧に供する場所】** 鹿島建設株式会社 関西支店  
(大阪市中央区城見二丁目2番22号)

鹿島建設株式会社 中部支店  
(名古屋市中区新栄町二丁目14番地)

鹿島建設株式会社 横浜支店  
(横浜市中区太田町四丁目51番地)

鹿島建設株式会社 関東支店  
(さいたま市大宮区下町二丁目1番地1)

株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所  
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成26年11月12日に提出いたしました第118期第2四半期(自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第1 企業の概況

##### 1 主要な経営指標等の推移

#### 第2 事業の状況

##### 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

##### (3) キャッシュ・フローの状況

#### 第4 経理の状況

##### 1 四半期連結財務諸表

##### (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

##### 注記事項

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_を付して表示しております。

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第117期 第2四半期 連結累計期間	第118期 第2四半期 連結累計期間	第117期
会計期間	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
<省略>			
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△789	<u>△3,996</u>	<u>36,686</u>
<省略>			
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	163,514	<u>195,885</u>	<u>259,420</u>

<省略>

<注記略>

(訂正後)

回次	第117期 第2四半期 連結累計期間	第118期 第2四半期 連結累計期間	第117期
会計期間	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
<省略>			
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△789	<u>9,216</u>	<u>17,388</u>
<省略>			
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	163,514	<u>190,498</u>	<u>240,122</u>

<省略>

<注記略>

## 第2【事業の状況】

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (3) キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

<省略>

投資活動によるキャッシュ・フローは、39億円の支出超過（前年同四半期連結累計期間は7億円の支出超過）となった。これは、有形固定資産の取得による支出114億円があった一方で、投資有価証券の売却等による収入65億円があったこと等によるものである。

<省略>

これらにより、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末から635億円減少し1,958億円となった。

(訂正後)

<省略>

投資活動によるキャッシュ・フローは、92億円の収入超過（前年同四半期連結累計期間は7億円の支出超過）となった。これは、定期預金の純減170億円の収入及び投資有価証券の売却等による収入65億円があった一方で、有形固定資産の取得による支出114億円があったこと等によるものである。

<省略>

これらにより、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末から496億円減少し1,904億円となった。

#### 第4 【経理の状況】

##### 1 【四半期連結財務諸表】

##### (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<省略>		
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△535	3,850
有形固定資産の取得による支出	△7,077	△11,492
有形固定資産の売却による収入	152	544
無形固定資産の取得による支出	△458	△281
投資有価証券の取得による支出	△347	△534
投資有価証券の売却等による収入	8,197	6,525
貸付けによる支出	△660	△13
貸付金の回収による収入	237	64
その他	△297	△2,660
投資活動によるキャッシュ・フロー	△789	△3,996
<省略>		
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,963	△1,817
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△37,650	△63,535
現金及び現金同等物の期首残高	201,164	259,420
現金及び現金同等物の四半期末残高	163,514	195,885

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<省略>		
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△535	17,063
有形固定資産の取得による支出	△7,077	△11,492
有形固定資産の売却による収入	152	544
無形固定資産の取得による支出	△458	△281
投資有価証券の取得による支出	△347	△534
投資有価証券の売却等による収入	8,197	6,525
貸付けによる支出	△660	△13
貸付金の回収による収入	237	64
その他	△297	△2,660
投資活動によるキャッシュ・フロー	△789	9,216
<省略>		
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,963	△1,119
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△37,650	△49,624
現金及び現金同等物の期首残高	201,164	240,122
現金及び現金同等物の四半期末残高	163,514	190,498

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりである。

(訂正前)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
	百万円	百万円
現金預金勘定	165,079	201,250
預入期間が3ヵ月を超える定期預金	△1,564	<u>△5,364</u>
現金及び現金同等物	163,514	<u>195,885</u>

(訂正後)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
	百万円	百万円
現金預金勘定	165,079	201,250
預入期間が3ヵ月を超える定期預金	△1,564	<u>△10,751</u>
現金及び現金同等物	163,514	<u>190,498</u>